

【第1878回例会 卓話】 令和3年8月3日



一般社団法人 日本微生物・感染免疫研究機構

 公式サイト：<https://nrim.or.jp>

代表理事 矢野 理恵 様（成田ロータリークラブ所属）

本日は卓話のお時間を頂戴しましてありがとうございます。一般社団法人日本微生物・感染免疫研究機構代表理事の矢野理恵と申します。成田ロータリークラブ所属です。よろしくお願ひいたします。

現在、国際医療福祉大学大学院にて、フィールドワークにおける消毒薬の有効性と持続性について研究しています。様々なデータを取得し、その一部についてご紹介したいと思います。

コロナが日本で発生して1年6か月。ありとあらゆる対策をしてきているかと思ひます。しかし収まる気配はなく、津波のように繰り返し押し寄せてきます。なぜ感染が収まらないのか？どこかに落とし穴があるのではないのか？これ以上何をすればよいのか？

感染のポイントは、3つ！ ①飛沫感染 ②接触感染 ③空気感染 です。

1. 飛沫感染

★マスク着用が大事！

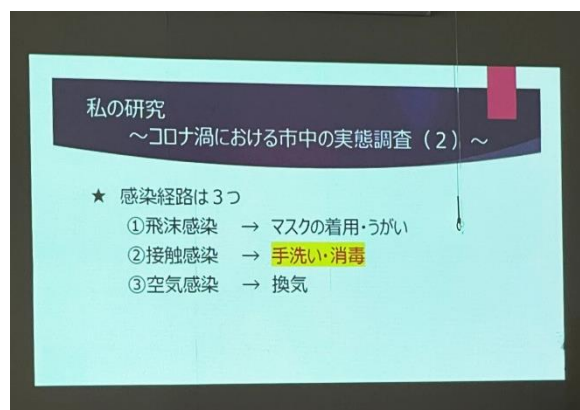
これに関しては、皆さんが徹底して対応しています。素材によって効果の大小はあるものの、みんなの意識が高く・実行されているので継続していただければと思ひます。

★うがいは、まだ習慣化されていない！

PCR検査は、唾液採取します。つまり、口腔内にウイルスが潜んでいるということです。うがいをするすることで、口腔内のウイルスを体外に排出することによって、会話時に

飛沫するリスクは下げられます。しかし、発症して大量のウイルスを体内に持っている人は、うがいの対処だけでは不十分なので入院措置等の隔離が必要となります。

人が集まるフロアに入る前にうがいをしてから入室をするだけで、感染リスクが減少することが考えられるので、ぜひ皆さんに実行していただきたいと思ひます。



2. 接触感染

接触感染の一番の原因は「手」があげられます。体内にウイルスを運ぶ手段は、手が一番多いです。例えば、飲食時があげられます。ここで皆さん、手をきれいにする手段として何をされていますか？主に手洗いと手・指の消毒があります。昨今は消毒をされる方が圧倒的に多いのですが、厚生省のポスターを観て頂くと消毒より手洗いを推奨しています。手洗いをしていれば、消毒薬を使用しなくてもよい！と記載もあります。

しかし、世間では手洗いより消毒が主流となっている。手洗いの方が効果的であるという論文が国内・海外ともに1論文しかないからです。手には、細菌だけでなく、汚れ（手垢・油等）が存在します。アルコールが直接細菌に触れば効果を発揮しますが、手の汚れが邪魔をし、このような結果となることが分かってきました。『手洗い』は、汚れも細菌も洗い流されるので消毒より効果が高い事がわかりました。みんなで正しい感染症対策をすることが重要です。

3. 空気感染は換気が一番

空間にいるウイルス数を測定する装置はありません。空気清浄機のフィルターによってはウイルスをキャッチする事は出来そうですが、空間噴霧等の有効性は実験室の中のみであり、一般家庭や職場内での検証した論文はありません。厚生省も空間噴霧を推奨していない理由はここにあると思います。

実際に「手」の消毒と手洗いの効果について検証しました。データをご覧ください。

①成田商工会議所主催にて、迎春対策の一つとして、参道のお店をされている方に集まっていたきました。

②某銀行の20~30代の行員さんのデータです。

手指の対策として、あらゆるところにアルコール消毒があります。しかし、消毒をしたという結果のみで、消毒が出来ているのかを検証したデータはありません。感染が拡大する一つの要因として、消毒施工の在り方に問題はないか、これについて研究しました。結果は、手洗いが一番良いということです。

またウイルスを細菌と同様に考えている人が多いかと思えます。ウイルスは、「もの」なのです。細菌と違い、人に感染しなければ、生活空間中で増殖することはありません。ウイルスは人の体内の中で増殖します。つまり人がウイルスの生産工場となっているのです。ここでのポイントは、ウイルスを体内に入れないということです。

さて、ここで皆さんに質問です。海外の調査会社(3社)が世界63か国で手を洗わない国ランキングを発表しました。主に先進国が中心です。日本は何番目と思えますか?なんとワースト2位なのです!非常に驚くデータです。日本は、世界NO.1の衛生大国です。水がきれいで、大きな感染症(コレラ・赤痢など)がみられない安心・安全の国です。この安心・安全に暮らす中で、いつしか衛生に対する意識が減少していきました。この意識の低下がコロナ感染を抑えることが出来ない理由の一つと考えられます。

ここで、細菌とウイルスの違いを理解していただき、正しい対策を行ってほしいと思えます。感染を防ぐ最大の対策は、自分でウイルスを体内に入れないこと!つまり、吸い込むリスクにはマスク・うがいを。目・鼻・口に一番の運び屋となる手の衛生=手洗いをすることです。消毒薬も正しい使い方をすればもちろん効果があります。が、消毒をしているから大丈夫と過信せず、また不確かなメディアの情報に惑わされることなく、正確な情報に基づいて、対策・対応をお願いしたいと思えます。



そこで、改めてロータリアンの皆様へのお願いです。職場や家庭に戻りましたら、今一度、手洗い・うがいの推奨をお願いいたします。帰宅した時、食事をする時、ぜひ手洗いをお願いします。

最後に川崎市の産官学連携にて、消毒薬の適正な使用方法のマニュアルを作成することになりました。公益財団法人川崎産業振興機構、川崎フロンターレ、高津高校さまにご協力いただきます。また、10月15日「世界手洗いの日」に向けて、ユニセフさんに協力いただき、手洗いキャンペーンを全国展開していきます。ぜひ柏南ロータリークラブの皆さまもご協力いただければと思います。

まずは、自分たちができることから始め、それを習慣化していくことが大切です。感染症対策・衛生管理の意識を高め、実践していくことから始めていただければと思います。

以上、ご清聴ありがとうございました。